

平成22年度日本農業気象学会東北支部大会プログラム  
会場：北里大学獣医学部（103・104 教室）

8月19日(木)

1. 東北支部役員会（12：00～13：00）：104 教室
2. シンポジウム「東北農業の近未来」（13：00～16：00）：103 教室  
（共催）日本農業気象学会東北支部・北里大学獣医学部「循環型畜産研究会」  
（後援）あおもり県民政策ネットワーク・津軽地域づくり研究会  
（主旨）食料自給率の向上、食の安全、資源循環技術の開発、温暖化対策など、わが  
国の農業が抱える課題について実践例を紹介、東北農業の近未来を展望する。

1) 循環型農業

飼料イネの作出（20分）

青森県産業技術センター農林総合研究所 藤坂稲作部 部長 川村 陽一氏

循環型畜産の実践（30分）

北里大学獣医学部 循環型畜産研究会 副会長・教授 嶋 栄吉氏  
技能主任 小野 泰氏

2) 植物工場

寒冷地対応型植物工場（20分）

青森県産業技術センター農林総合研究所 転作作物部

主任研究員 鈴木 千秋氏

3) 温暖化と作物

稲作の温暖化対策（20分）

岩手大学農学部 教授 岡田 益己氏

畑作（大豆）の温暖化対策（20分）

東北農業研究センター 寒冷地温暖化研究チーム チーム長 鮫島 良次氏

総合討論（30分）

16:00～19:00 情報交換会（BBQハウス）（八雲牛肉の試食あり）

20日(金)

一般研究発表(9:00～11:20) : 103 教室

座長 菅野洋光 (9:00～10:20)

1) 青森県防災ホームページからみた農林水産業の気象災害

多田 久

2) 非連系再生可能エネルギー利用住宅での電力需要特性

土屋 幸男 (八戸工業高等専門学校)

3) 切り花リンドウ花冠の紫外線輝度値と体内水分との関連性について

○牛草貴行<sup>1)</sup>・庄野浩資<sup>2)</sup>・松嶋卯月<sup>2)</sup>・岡田益己<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>岩手大院農、<sup>2)</sup>岩手大農)

4) 根域冷却によるトマトの高糖度化

○岡田益己<sup>1)</sup>・齋藤照雄<sup>2)</sup>・畠山武士<sup>2)</sup>・長尾学<sup>3)</sup>・鈴木健策<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>岩手大学、<sup>2)</sup>賢治の土(株)、<sup>3)</sup>東北農業研究センター)

座長 横山克至 (10:20～11:20)

5) イモグサレセンチュウのニンニクへの被害とその培養

○小野智士・井上航太・長谷部匠吾・皆川秀夫・田中勝千 (北里大学獣医学部)

6) 水稻害虫フタオビコヤガの発生時期に及ぼす気温の影響について

○横山克至<sup>1)</sup>・中島具子<sup>1)</sup>・佐藤智浩<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>山形県農業総合研究センター、<sup>2)</sup>山形県病害虫防除所庄内支所)

7) クロロフィル蛍光分析による水稻の耐冷性

○吉岡翔・坂本雅子・武藤英士・岩崎悠・皆川秀夫・田中勝千(北里大学獣医学部)

東北支部総会 (11:30～12:00) : 103 教室

※発表時間 15 分、質疑応答 5 分でお願いします。

※当日、発表要旨を 30 部配布してください。作成にあたっては添付の要旨執筆要領をご参照ください。なお、ページ数は多くても構いません。発表要旨は後日支部会誌に掲載します。

## 研究発表要旨執筆要領

° 農業太郎・気象花子（大会実行委）・北海 弘（大会事務局）

（ここから本文）

1. ワードプロ（MS-Word、一太郎等）かTEXを使用し、A4判上質紙（縦置き）に42字×40行程度、黒で印字してください。その際、上下の余白を25mm、左右の余白を17mmとって下さい（この文章の書式です）。文字の大きさは、12ポイント位が適当です。
2. 原稿は、1題につき用紙2枚を使用してください。
3. 表題は1行目の10字目から書き始め、1行目におさまらない場合は2行目の11字目に続けて書いてください。
4. 発表者の氏名は3行目の11字目から書き、所属機関名は氏名の後に（ ）に入れて書いてください。連名の場合、講演者の氏名の左肩に°印をつけてください。共同研究者が多く3行目におさまらない場合は、4行目を使用してください。
5. 本文は5行目から書き始めてください。
6. 図表（写真を含む）は用紙に直接書くか、または貼り付けてください。不鮮明なものや複雑なものは使用しないでください。また、カラー印刷は行いませんので、モノクロ印刷したときに内容が判別可能なものを作成してください。図の題目は図の下に、表の題目は表の上書き、見やすく配置してください。
7. 原稿は、原稿ファイル・印刷物、どちらでも受け付けます。ただし、オフセット印刷により要旨集を出版しますので、印刷して提出される方は、汚したり、しわにならないように注意して取り扱ってください。
8. 本部提出用の250文字要旨を別に作成し、研究発表要旨と同時に提出してください。こちらはメール本文、あるいはファイル添付の提出のみ受け付けます。